

日遊協2014年ファンアンケート調査

1か月の平均遊技額は 低貸台約3万円、通常台約8万円

広報調査委員会が昨年10、11月に全国で行った「2014年パチンコ・パチスロファンアンケート調査（ホール来店客調査）」の結果が1月8日、第5回定例理事会で承認され、公表された。レジャー志向の傾向は変わらないが、生活上の位置づけでは、必要な楽しみとしている人が微減傾向にあった。依存問題については5割近くが関心を持ち、「やめ時をつくること」「適度な遊びの啓蒙」が業界の対策としてとくに望まれていた。「ホール以外でパチンコ・パチスロを話題にするか」を新しく設問に加えたところ、75%が出玉、演出などで話題にしており、業界が効果的な情報を発信できれば、ファン人口拡大やイメージアップにつながる可能性があることがわかった。

調査にあたり全国の日遊協会員ホール、並びに東京都遊技業協同組合青年部、九州地区遊技業組合連合会青年部、そしてご来店のお客様方に多大なご協力を賜った。

2014年パチンコ・パチスロファンアンケート調査実施要領

- 調査目的と内容：今後の業界発展に資することを目的に、パチンコ・パチスロファンの特長、プレー実態、ニーズ等とその動向変化を把握するための定点観測を行った。加えて依存問題への対応ほか社会貢献活動・広報活動等に対するファンの認識度、評価を分析した
- 実施時期：2014年10月中旬～11月下旬
- 調査対象：全国の日遊協加盟企業が有するホールの来店客。都遊協、九遊連加盟ホールの協力も得た
- 協力ホール：181ホール
- 有効回答：3281サンプル
- 回答者の属性：平均年齢42.7歳。若年層（39歳以下）51%、中年層（40・50代）28%、高年層（60代以上）20%だった。男女比は男性65%、女性35%。職業別では「勤め人」44%、「パート・フリーター」17%、「無職（リタイア含む）」11%、「自営・自由業」「専業主婦」各9%、「学生」3%

ホールに行く目的の経年変化

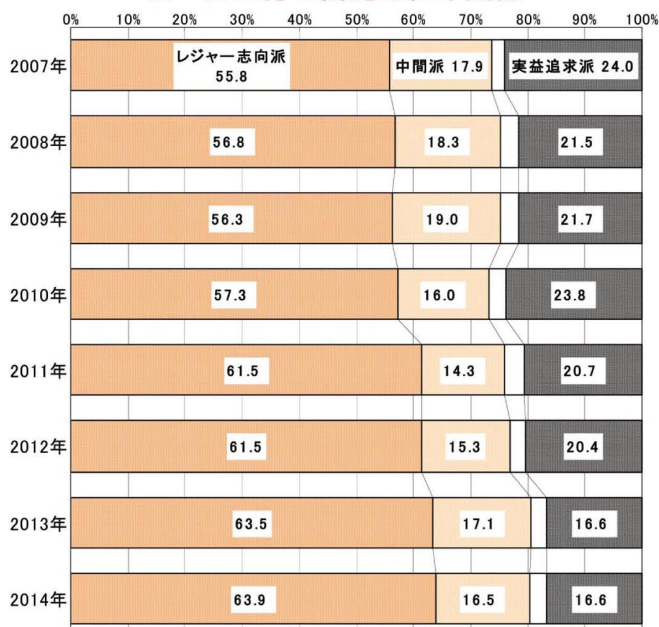


表1 プレーする目的 レジャー派が 64%で漸増

実益重視型17%、レジャー志向型64%、中間派（実益重視だがあくまでレジャー）17%の構成で、3分の2近くが意識の上では暇つぶしやストレス解消など手軽なレジャーを目的にしたファンと見られる。経年で見ると実益派は変わらず、中間派が微減、レジャー派が微増傾向にある。

表2 生活上の位置づけ 若者が「なくても…」傾向へ

半数強のファンがパチンコ・パチスロは「日常生活上の（一番もしくは大事な）楽しみ」としている。残りの大多数も「なくても困らないがあったほうが良い」としている。但し、これら「楽しみ」派は漸減している。「なくても困らない」派は漸増傾向で、レジャー多様化のため若い世代に多い。今後は若者が脱落しないような遊技形態・環境が大切となる。

パチンコ・パチスロの生活上の位置づけ

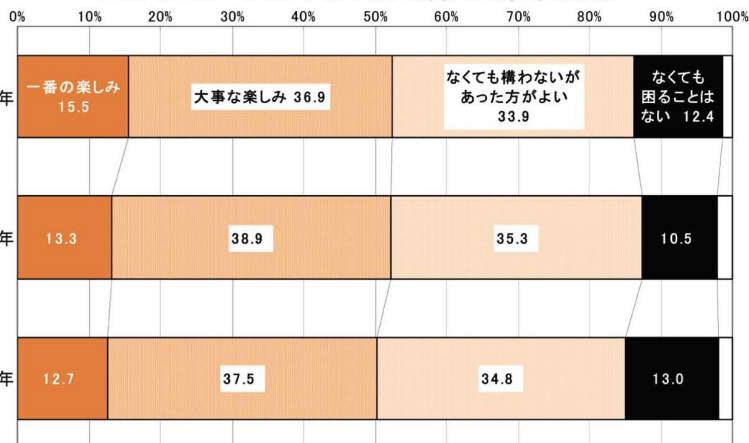
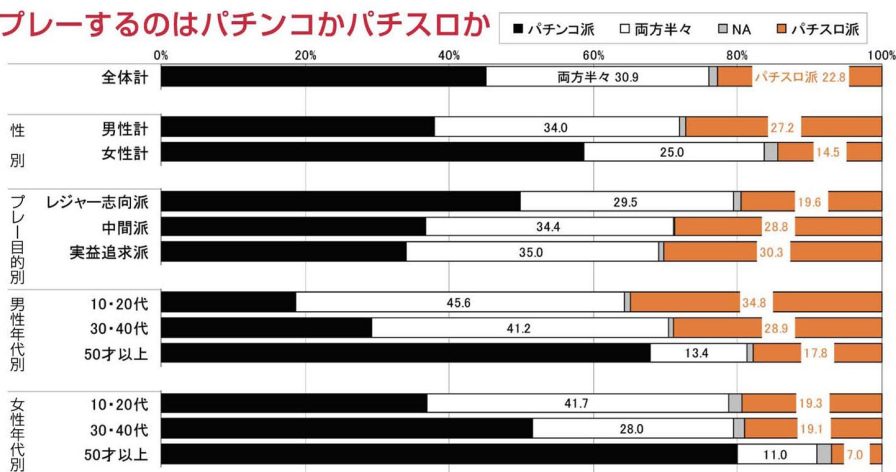


表3 パチンコかパチスロか 増える「両方同程度に」遊ぶ

プレーするのはパチンコかパチスロか



パチンコ中心が45%（前回46%）、パチスロ中心が23%（同26%）、両方同程度が31%（同27%）で、「どちらかだけ」が減り、「両方同程度」が増える傾向。男女とも若い年代ほどパチスロ派が多い。パチンコで遊ぶ理由は1位「慣れている」（66%）がダントツで、2位「ゲームとして面白い」（31%）に大差をつけているが、これは年齢が高い人、キャリアの長い人が多いからと思われる。一方、パチスロで遊ぶ理由は「慣れている」「ゲームとして面白い」がほぼ同率（54%前後）でトップ。「技術を生かせる」もパチンコより高い。

表4 通常台か低貸台か 低貸台中心が29%、更に定着

プレーするのは通常台か低貸台か（推移）

通常台中心にプレーする人は55%（前回53%）で、長いスパンでは減っているが依然過半数を占める。低貸台中心は29%（同27%）で徐々に増える傾向にある。低貸台でプレーすることのある人（メインでない人も含めて）はパチンコで7割弱、パチスロで5割強おり、低貸台がファンの中で定着してきたのは確かといえる。

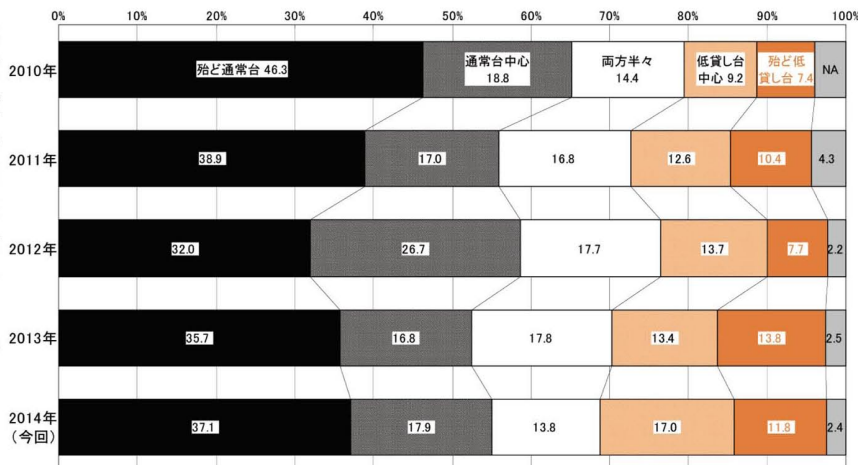


表5 来店頻度 「週1回以上」が7割超す

ホールへの来店頻度（全体計と男女別）

「概ね週2回以上」41%、「概ね週1回程度」31%と週1回以上来店する人は7割以上を占める。高頻度の人は男女とも50歳以上、無職または自営・自由業、専業主婦が多く、いずれもその5～6割が週2回以上となっている。

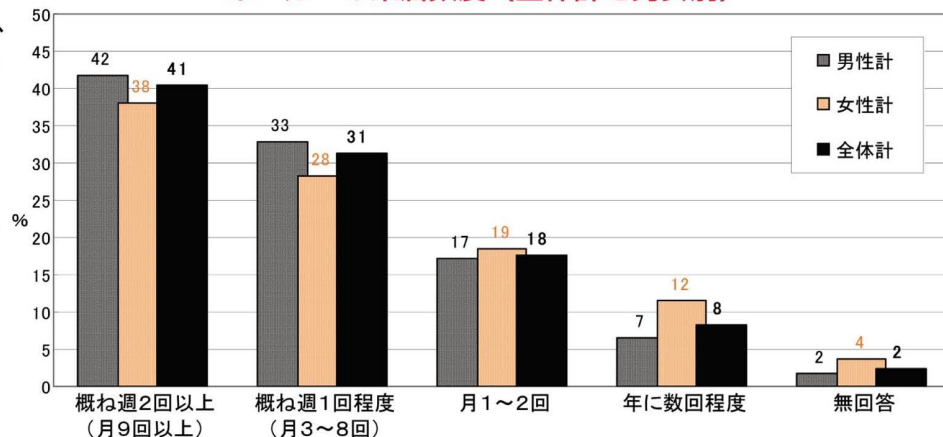
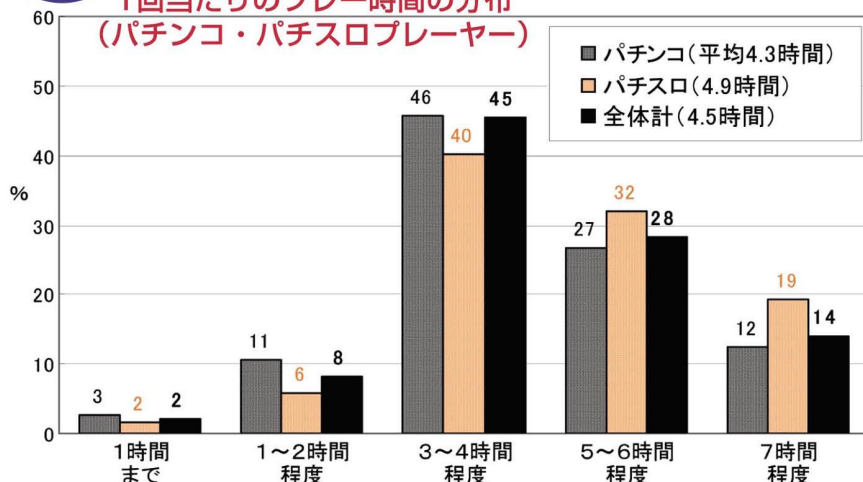


表6 1回のプレー時間 3年で30分程度伸びる

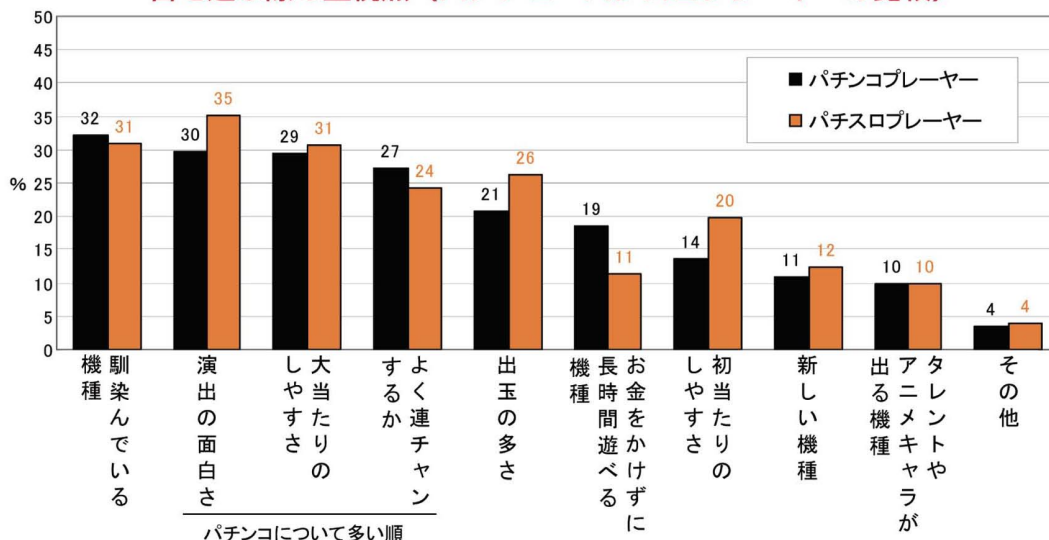
1回当たりのプレー時間の分布 (パチンコ・パチスロプレーヤー)



1回のプレー時間は平均4.5時間。2011年までは4時間前後だったので、近年は長びく傾向にある。「2時間まで」は1割程度しかない。パチンコよりパチスロプレーヤー、低貸台より通常台プレーヤーが長い。また、高頻度、高金額、実益追及派、無職または自営・自由業の人がそれぞれ長い。

表7 台選びのポイント 「出玉の多さ」重視↗

台を選ぶ際の重視点 (パチンコ・パチスロプレーヤーの比較)



「演出の面白さ」をトップに、「馴染んだ機種」「大当たりのしやすさ」「よく連チャンするか」が毎回上位を占めるが、「出玉の多さ」を重視するファンが近年急増している。ほかにパチンコでは「安く長時間遊べる機種」、パチスロでは「演出の面白さ」「初当たりのしやすさ」を重視する人が多い。

表8 プレー予算と実際の支出（1か月）

平均支出額は5万8700円

1か月のプレー予算の上限を「決めていない」人は46%。それ以外の「決めている人」の平均予算額は4万6900円（パチンコ4万5700円、パチスロ5万1300円）。

一方、実際の支出では、「わからない」と答えた人が半数いるが、金額を答えた人の平均支出額は5万8700円で、パチンコ、パチスロともほぼ同額。予算を決めている人のうち、予算内でプレーしている人は52%、オーバーしている人は21%、支出額がわからない人が26%程度いた。低貸台での支出額は平均3万1000円。それに対し通常台は8万5000円で2.6倍だった。

パチンコ・パチスロで遊ぶ1か月の「実際の支出」

		なし	1万円まで	～2万円まで	～3万円まで	～5万円まで	～7万円まで	～10万円まで	10万円超	わからない	平均 (わからない人を除く)
全体計		0.2	10.4	7.3	9.6	10.0	2.3	5.5	4.4	50.3	58,700円
プレー機別	パチンコプレーヤー	0.2	12.8	7.1	10.3	9.2	2.0	5.5	5.4	47.6	59,200円
	両方プレーヤー	0.1	10.1	7.3	8.8	10.3	2.9	4.3	3.9	52.5	57,500円
	パチスロプレーヤー	0.1	6.1	7.9	9.8	11.5	2.1	7.2	4.1	51.2	59,600円
貸し玉価格別	通常貸し台プレーヤー	0.1	5.2	4.9	9.3	11.0	3.0	7.8	7.0	51.8	80,500円
	両方プレーヤー	0.0	10.4	10.1	12.3	14.1	1.1	2.6	1.9	47.4	39,500円
	低価格台プレーヤー	0.3	21.1	10.8	9.7	6.8	1.4	3.1	1.3	45.4	31,000円
プレー歴別	1年未満	0.5	24.9	7.1	6.1	7.6	0.0	0.5	2.0	51.3	27,400円
	1～5年未満	0.0	12.5	7.1	11.8	9.1	1.2	1.3	2.0	55.1	42,600円
	5～10年未満	0.0	9.9	8.7	10.4	9.4	2.9	5.2	2.4	51.1	45,400円
	10年以上	0.2	8.4	6.9	9.2	10.8	2.5	7.4	6.4	48.2	70,700円
プレー頻度別	高頻度（週2回以上）	0.2	5.0	3.6	7.8	10.5	2.4	8.9	9.5	52.2	94,900円
	中頻度（週1回）	0.1	7.8	9.0	12.3	12.2	3.0	5.1	1.7	48.8	44,700円
	低頻度（月2回以下）	0.2	22.4	11.5	9.9	7.3	1.1	1.3	0.7	45.6	25,400円
プレー目的別	レジャー志向派	0.2	12.7	8.2	9.8	9.4	1.9	4.3	4.0	49.5	51,700円
	中間派	0.2	7.4	6.9	12.0	12.8	2.8	6.7	4.2	47.0	58,100円
	実益追求派	0.0	4.8	5.3	8.3	11.0	3.3	9.4	6.9	51.0	87,000円

表9 台の満足・不満足

双方ともに「不満」が増える

パチンコは満足35%、不満24%、パチスロは満足、不満とも29%。双方ともに4割強は「どちらともいえない」だった。また、双方ともに不満が漸増傾向にある。満足の理由は「ゲームとして面白くなった」、不満の理由は「あまりたくさん出なくなった」が断然多い。

今の台に不満の理由（通常台・低貸台プレーヤー別）

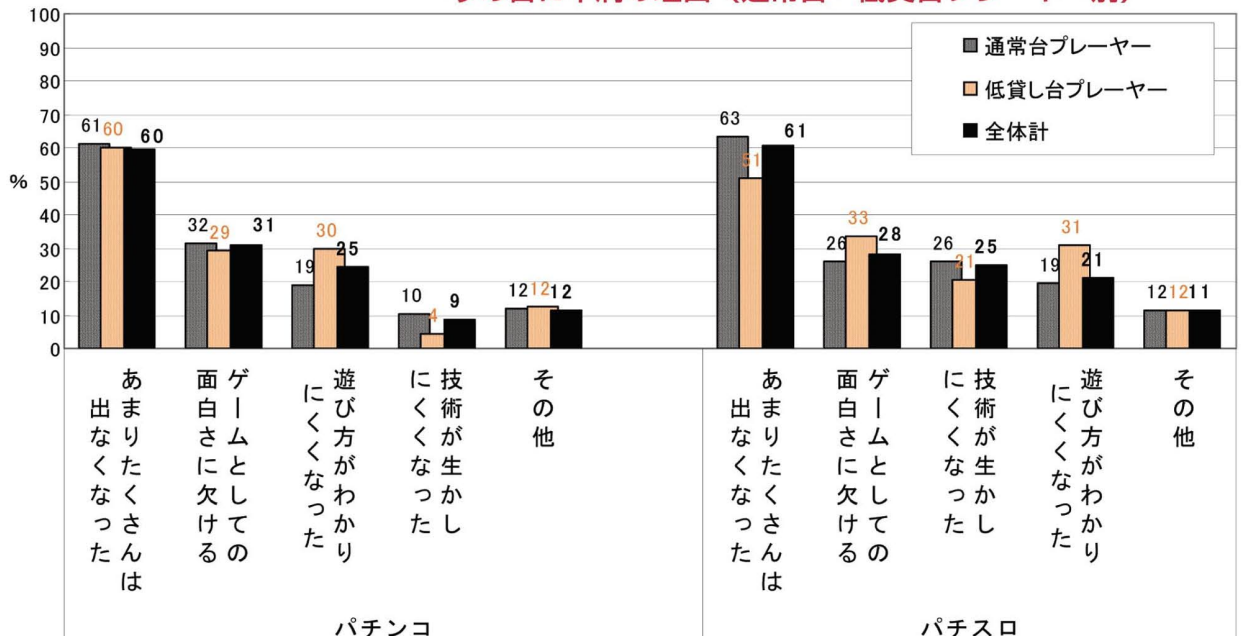


表10 中断経験者の再開 「新機種」「低価格台」も動機に

1年以上中断していた人が再開した動機は、「家事・育児の余裕ができた」「経済的余裕ができた」「仕事を辞めた、仕事の余裕ができた」等の個人的事情と、「新機種が面白そう」「低価格台ができた」の計5項目が各10%以上を占めた。「新機種」「低価格台」といった業界サイドの政策も有力な再開動機になっている。

中断経験者の再開しようと思った理由

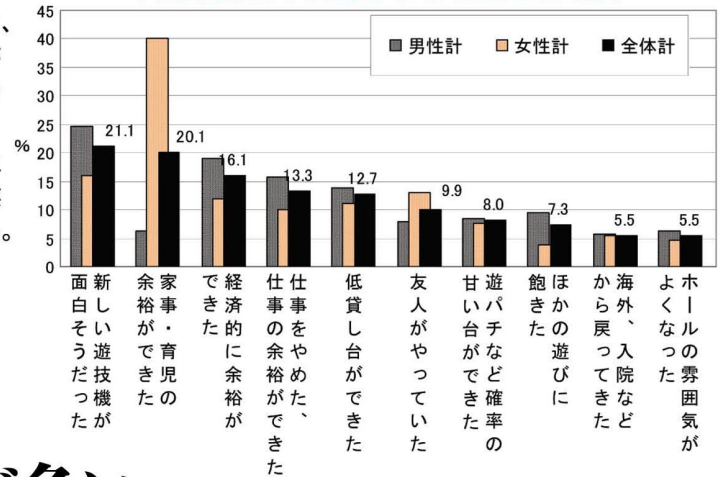
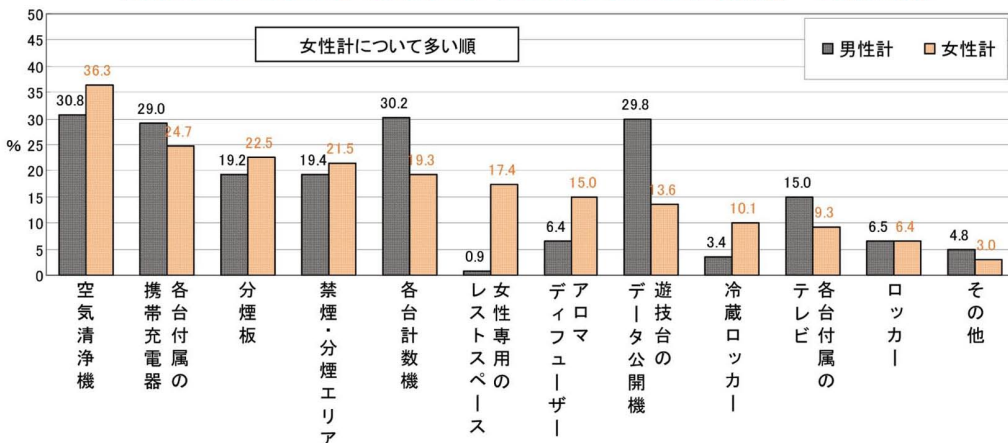


表11 ホール設備への期待 喫煙関係の要望が多い

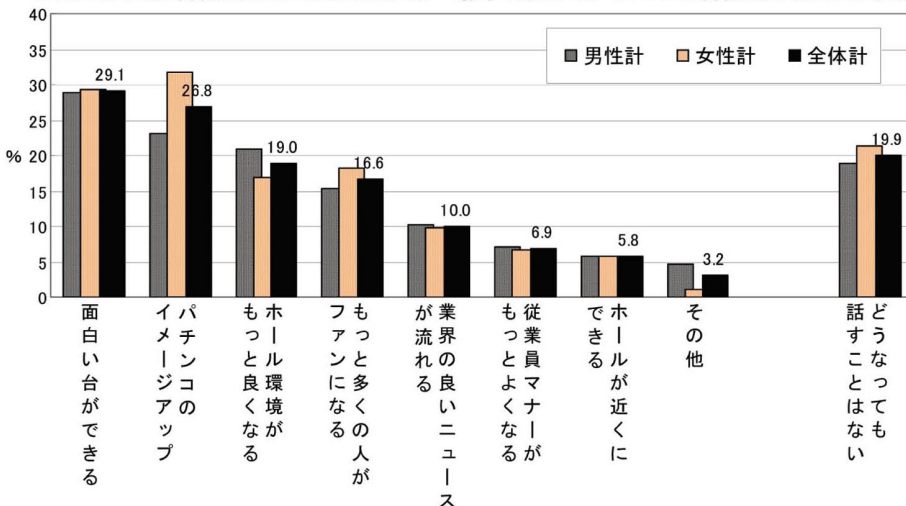
「気に入っている」あるいは「あればうれしい設備」(男女別)



全体として「空気清浄機」が最多。以下、「各台付属の携帯充電器」「各台計数機」「遊技機のデータ公開機」「分煙板」「禁煙・分煙エリア」の順で希望が多い。このうち3つが喫煙関連で、パチンコプレーヤー、低賃台プレーヤー、女性にとくに多い。

表12 日常、遊技を話題にするか 「友人と出玉について」が多く

どうなれば話題にしてもよいか(外ではパチンコを話題にしない人)



ホール外で誰かとパチンコ・パチスロのことを話す人は、「よく話す」35%、「たまに話す」40%で、合わせて75%いた。相手は「同性の友人・知人」「職場の友人」が多く、少し差があって「家族」「異性の友人・知人」と続く。最近勝ちが増えた人、実益重視の人はとくに話している。話題はほとんどが出玉の状況と勝ち負けとなっている。一方で24%の「話さない人」にどうすれば話題にするようになるかを聞いたところ、「面白い台ができること」「イメージアップ」「ホール環境がよくなること」「ファンが多くなること」が多かった。

表13 依存問題 関心・無関心が ほぼ半々

関心がある人（強い、多少）46%、関心ない人（全く、あまり）52%で、年により多少のぶれはあるがほぼ半々。業界の対策は「やめ時が分かりやすい台の普及」（44%）、「適度な遊びの啓蒙」（41%）が特に期待され、「設定金額や時間を知らせるシステム」「相談機関の認知向上」「店員に相談できる環境」が続いている。

依存問題への業界の望ましい対策は
（関心ある人全体計）

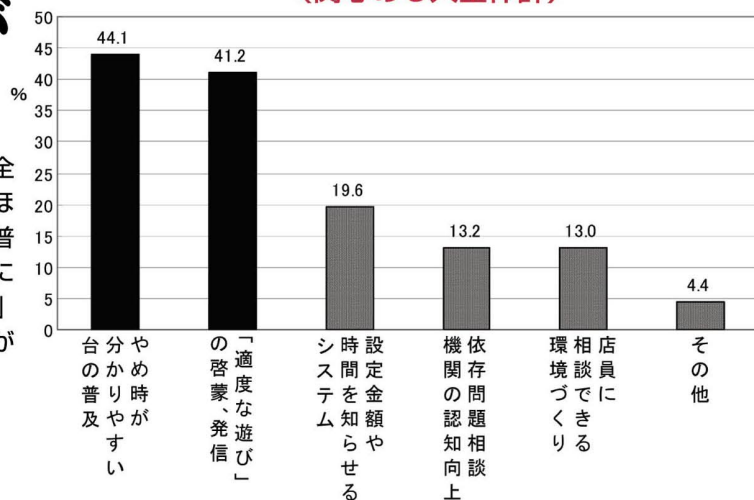
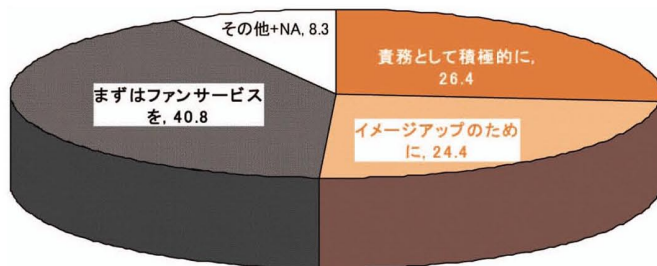


表14 社会貢献活動 「ファンサービス優先を」の声も

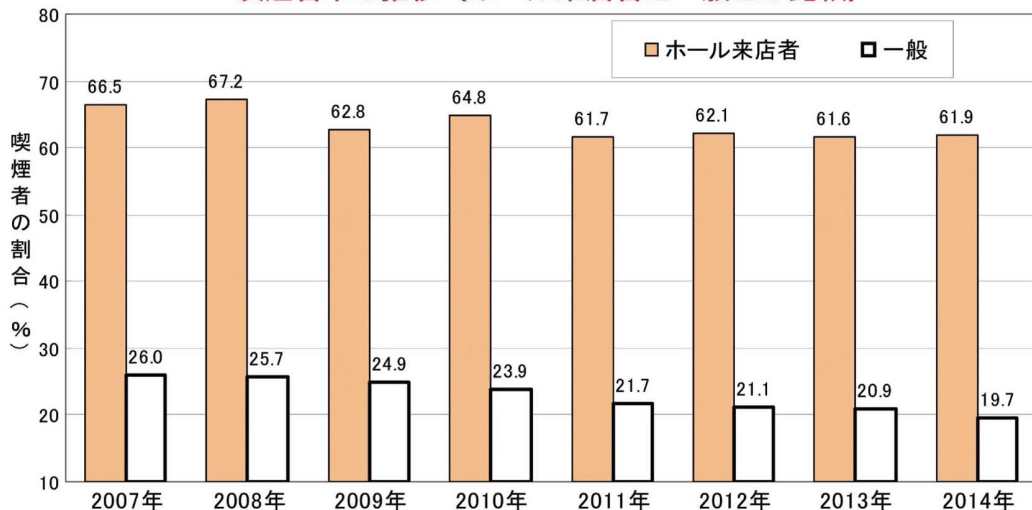
社会貢献活動に対するファンの見解



業界の社会貢献活動に関して、ほとんどのファンはすること自体に異論はないと考えている。その中で、「業界規模の大きさから積極的に」（26%）、「イメージアップのため」（24%）とする積極派が過半数強を占める一方、「まずはファンサービスを」（42%）とする意見も相変わらず多かった。

表15 禁煙の賛否 喫煙率は全国平均の3倍

喫煙者率の推移（ホール来店者と一般との比較）



ホール来店者の喫煙率は62%（男性67%、女性52%）で、全国平均（男女計20%、男性30%、女性10%、JT調査）と比べて相当高い。ホールの全面禁煙化に対する賛否は、喫煙者は反対、非喫煙者は賛成が断然多いのは当然だが、全体としてはほぼ拮抗する中、賛成派の「分煙程度でもよい」、反対派の「やむを得ない」等、一定の理解を示す人も少なくない。当面は分煙の徹底を図ることが得策と考えられる。